



皆さんは『愛』していますか？

今月のテーマは“愛” 曖昧なテーマな分、私たちの多様な感情を押し込めることができます。読書の世界で様々な愛に溺れてみてください。

ほんじゃあ、あいなら。

R3.2.12 発行

平場の月 朝倉かすみ

朝霞、新座、志木、この辺で生まれて、育って、働いて、死んでいく連中の一人である青砥(50歳)。彼はある日病院の売店で須藤と出会う。須藤とは青砥が中学生の時に告白して振られた同級生であり、体は細いが芯のある太い女性だ。二人は年相応の過去があり、家族もあった。そんな二人は大人の哀しい愛を繰り広げていく…。

高校生のきらきらした恋愛では味わえない、感情に迫るものがあります。ぜひ読んでみてください。



君の名前で僕を呼んで アンドレ・アシマン  
毎年のように大学教授の父の研究のために北イタリアで過ごす夏休み。今年の夏はいつもとは違った。十七歳のあの夏、エリオがオリヴァーと出会い、過ごしたあの日々は特別なものだった。好きになるかもしれないし、大嫌いになるかもしれない、そんな印象のオリヴァーにエリオはすぐに惹かれていき…。話ができれば幸せに、よそよそしい態度をとられれば傷つくようになっていく。恋愛物語は、結ばれないほうが美しいのかもしれない。

世界の中心で愛を叫ぶ

片山恭一

高校で運命的に出会ったサクとアキはやがて恋に落ちる。そして二人は幸せな学校生活を送るが、ある日、アキは白血病で倒れてしまう。病院での隔離生活を送るも病状がどんどん悪化していくアキ。そしてサクはアキの願いである、ウルルに行くことを叶えてあげるためにある行動に出る…。

心からの絆で結ばれるサクとアキの甘くて切ない感動ストーリーです。映画化もされています。

是非読んでみてください。

